## 社説

# 臺灣の治績

今度政府は臺灣總督に上京を命じたるよし何の爲めなるやは知る可らざれども或は多少新領地の施政を改めんが爲めなる可し臺灣の失政は一時世論の沸騰したる所にして時の政府も默止するを得ず拓殖務省を廢すると共に總督府の官制をも改正したれども其改正の要點は只民政局より財務部を引離して財務局と爲し軍務局を分て海軍事務軍事課としたるまでの事にして局に當る人物も以前と同樣なれば治績に於ても格別の相違なきみとならん今其財政を見るに詳細の數は未だ明白ならざれども二十九年度の歳入豫算額は六百六十八萬餘圓なりしに實際の收入は二百六十三萬餘圓に過ぎずして歳出に於ても著しき違算あり例へば製藥所費の如き百八十五萬餘圓の豫算中實際費したるものは僅に二十六萬餘圓にして事業費も亦豫算の半額を支出したるのみ而して三十年度の計算は今尚ほ年度内に屬するを以て知るによしなけれども聞く處に據れば歳入豫算八百萬圓の内實際の收入は五百萬圓内外に止まる可しと云ふ斯く豫算と實際に甚だしき相違あるは調査不完全にして見込の立たざるが爲めか若しくは怠慢にして取る可きものを取らず費す可きものを費さゞるが爲めなる可し何れにしても不行屆の譴を免れざるものなれば此際更らに刷新するゝと肝要なれども我輩の特に注意を促さんと欲する所のものは運輸交通の事なり政府は先きに庶兒鳴基間に海底電線を敷設したれども其費僅金から少して昔ぬく世間の需用に應ずるみと能はず僅に臺灣に限り之を取扱ふのみにして其不便少なからざるが上に錢運の如きは支那人の敷設したる馬車運送のもの六十噸を備ふるに過ぎず元來未開の地を開くには鐵道みを第一の必要物にして汽車の通ぜざる所には政治も自から不行屆を免れず商賣工業も發達せざるの常なり西洋人が地を拓き民を殖るには先づ鐵道交通を開くの例にして國下諸强國が支那に對して求むる所も主として鐵道敷設に在るを見れば文明は即ち車に依て往來するものなるを證するに足る可し然るに日本が臺灣を收めて以來既に三年を經過したれども鐵道は少しも伸び申して山には鐵物あれども掘るみと能はず臺灣は僅に臺北附近に國旗し土匪任侠にも一方なら不便を感ずるが如き如何にも地へ歸き次第にして世間に對しても不面目と云はざる可らず臺灣經營なるものの效果として成功の見込あるか詳しく見込なるものの效果として確に成功せしむ可し然らずんば政府に於て當初なく敷設せざる可らず成は財政困難にして臺灣には一億の餘剰もなしと云はんかなれども天下金に乏しからず人民の胸中は若だ豊にして外國の市場には無數人を求ひる資本多し資本を增すも可なり借金するも可なり政府は臺灣經營の基礎は鐵道に在りとして只管鐵道敷設と叫ぶものなり

## ○バクテリア物語（八）

ーピッ氏の發酵及び腐敗説

醒峰

（ルイ・パスツール氏の論説に「酵母」と題する一篇御在ます其内に申して在る所に據りますと「スタールは發酵素を以て内部運動の狀態に於て存ずるものと爲し則ち此運動を砂糖に傳へて之を新物に變ぜしむるものと云ふ説を唱へましたが然るにファブローニは砂糖を以て二重基（ベースの）酸化物と爲し發酵素を以て二重基の酸素が砂糖の酸素と結合して酸酵を發生する、斯る間に砂糖は發酵素の窒素と結合して酒精に由て分解されて酒精を發生すると云ふ説を唱へましたが然るに酒精は酸素が燕麥に由て分解されて酒精を成産する、其處で此新物が發酵にも活生有機體の干渉必要なる次第がパスタール及び其他の化學者に依て明白に證明されたる今日と成ては（リーピッヒの説は兎角も立ちません（併し可溶發酵素の事あり、下段に陳べるで御在ませう）併し此スタール＝リーピッヒの説とテナー＝パスタールの説も爰に詰めて見ると似寄た所がないのでも御在ません如何となればスタールが火元でリーピッヒが贊助した學説に隨ひますと砂糖を成す酒原子が直接にトリューラー（トリューラの模數）＝に依て＝者くはトリューラーの形成した或物に依て間接に＝誘動されて新結合を形造るると云ふ又パスタールの贊助したテナー學説に據れば發酵は植物が砂糖の一部分を同化して其爲めに變態の部分の安靜を妨げ遂に之を發酵成産物に變形する事を定むると申します見るにも角にも原態の安靜を妨ぐると云ふ一發に至ては發を一にしたるもの〜如く彼馬雨場の意見も其實、初め見た時のやうに甚だしく異てるのでは御在ますまい

○内務省令第二號　内務省令第二號を以て醫術開業試驗後期の學説試驗、歯科の學説試驗に合格したるものに學説合格承認證を交付するの道を開き同第二號を以て藥劑師試驗の學説試驗に合格したるものに同じく承認證を交付するみとを定めたり

○英露兩國の不折合　英露兩國は支那外交を各々一手に引受けん事を主張し分讓を肯ぜずとは去る二日の北京特電の報ずる所なれども先月上旬の北清逸ガゼットの傳ふる説を記さんに東洋の形勢追々平穩となりたるは誠に慶賀す可き次第にして抑も紛亂の原因は英露兩國間に於ける政治上の反目と經濟上利害を相同うせざるとに歸すれども其中經濟上の不折合は之を調和するに難からず如何となれば支那の公債を一國に引受け可き理由なく互に分擔す可きは至當の事なる上に分擔の協商纏まる可き歟候あればなりと

○膠州の獨逸銀行　獨逸の商工業家中には今度の機會を利用し支那實島を擴張せんと奔走するものゝある由なるが愈々膠州へ獨逸銀行の支店を設け鄭便制を實行す可しと云ふ義起り又政府は占領地の地圖を調製中にして其出來を待ち直に山東省の鉄礦を搜索し之を採掘する計畫なりと云ふ

○大阪商船會社の臨時總會　大阪商船會社には其資本金を半減する爲め近日臨時會を開くべき事は兼て記したる所なるが愈來る十九日大阪ホテルに開會するみとに決せりと云ふ

○玩具陳列會　今六日午後一時より神田區仲町一丁目貸席富岡方に於て清水晴風氏が多年蒐集せる古今の玩具を陳列して縱覽に供するよし

## ○犯罪の美術（十六）

醒峰

隨分軟には驚くまじき、探偵の眼が、魔女すも見て慄然としたるは、毒子戸の下を傳ひて、敷居の上を流るゝ赤き水なり。伴は俯伏さて、愼の先を之に進し見るに是は正しく血にして、既に半は固結りたり。

再び起ち上りて、窓を開き、雨戸を押し開きたるに、窓の女の姿なく、戸を押し開きたるに、窓の女の姿なくなれども、若痛へ屋敷のたるが其まま、其鳥の模は、以て見れば、窓ねられたるならん。居際の血なり、窓りて、窓盛の下にれぞ、是と彼とは、しは見えず。窓掛の下り居たる室内一瞥に、博晴は充分の餘警を遂げ引上げて明るくすると、ありたる後、未だ室に入らずして、盧なるは、探偵に利なれば、伴は勇とに注意するに、隅には洗面盞あり、は水半ば滿ちて、を帶びたり。尚ほ、には、燒殘のあり、の紙片を燒殘て、く、堆の迹の灰燼、證跡となるものは、察て、血の痕は凡む、是れ餘程落着る仕業と云ふべし「鼻の上の血なん、犬の、込まない中に、つて仕舞ふ、犬の、くゝ、ぞは實に、にての詞なり。犬に手を噛まれ、場合を云へり、是、水ずにファブローニの說に據れば發酵素は其机を蔽き置物を手札の如く、ルの說に據ひますと發酵素の家に傳へしめて之を崩壞するに至らしむる人の如く、枚の厚紙手札を以て拵えた家の樣で御在ます先づスタの例に據て說明致しますと砂糖は恰も机の上に數俗の例に據て說明致しますと砂糖は恰も机の上に數爲め新に結合するのであると、擬みの三説の意見を通て、ぬ原素は炭酸と酒精を形成せん原因となると想ひます其次第如何にと云ふに酸素を取られた爲めに砂糖の原素の間に保持されたる平衡の妨げられる結果、是等原素は炭酸と酒精を形成せん

○内務省令第二號　内務省令第二號を以て醫術開業試驗後期の學説試驗、歯科の學説試驗に合格したるものに學説合格承認證を交付するの道を開き同第二號を以て藥劑師試驗の學説試驗に合格したるものに同じく承認證を交付するみとを定めたり

○英露兩國の不折合　英露兩國は支那外交を各々一手に引受けん事を主張し分讓を肯ぜずとは去る二日の北京特電の報ずる所なれども先月上旬の北清逸ガゼットの傳ふる説を記さんに東洋の形勢追々平穩となりたるは誠に慶賀す可き次第にして抑も紛亂の原因は英露兩國間に於ける政治上の反目と經濟上利害を相同うせざるとに歸すれども其中經濟上の不折合は之を調和するに難からず如何となれば支那の公債を一國に引受け可き理由なく互に分擔す可きは至當の事なる上に分擔の協商纏まる可き歟候あればなりと

○膠州の獨逸銀行　獨逸の商工業家中には今度の機會を利用し支那實島を擴張せんと奔走するものゝある由なるが愈々膠州へ獨逸銀行の支店を設け鄭便制を實行す可しと云ふ義起り又政府は占領地の地圖を調製中にして其出來を待ち直に山東省の鉄礦を搜索し之を採掘する計畫なりと云ふ

○大阪商船會社の臨時總會　大阪商船會社には其資本金を半減する爲め近日臨時會を開くべき事は兼て記したる所なるが愈來る十九日大阪ホテルに開會するみとに決せりと云ふ

○玩具陳列會　今六日午後一時より神田區仲町一丁目貸席富岡方に於て清水晴風氏が多年蒐集せる古今の玩具を陳列して縱覽に供するよし

## ○犯罪の美術（十六）

醒峰

隨分軟には驚くまじき、探偵の眼が、魔女すも見て慄然としたるは、毒子戸の下を傳ひて、敷居の上を流るゝ赤き水なり。伴は俯伏さて、愼の先を之に進し見るに是は正しく血にして、既に半は固結りたり。